



自動荷役システムにより
現場の人材不足の解決と
安全品質の向上を目指す

株式会社ボルテックスセイゲン

安中市



- ▶ 代表者: 武井 宏
- ▶ 設立年月日: 1951年6月
- ▶ 資本金: 9,000万円
- ▶ 従業員数: 504人
- ▶ 住所: 安中市原市432
- ▶ TEL: 027-382-3333
- ▶ Mail: n-arai@vortex.gr.jp
- ▶ URL: https://www.vortex.gr.jp/

当社HPへは
こちらから→



企業紹介

1951年設立の総合物流企業で「安全第一主義」を理念とし、東日本に11拠点(総面積22,000坪)、300台の車両を保有し、事業展開を行っています。国内輸送、倉庫保管、梱包、人材派遣に加え、都心から100kmの内陸港として国際物流にも対応しています。利便性向上やリードタイム短縮により、顧客の物流コスト削減に貢献しています。血圧測定IT点呼システムを自社開発、運転手の健康状態のチェック管理を行い現場の負担軽減および全社ベースでの管理基準の統一化を図っています。安全作業のもと、女性も快適に働くための企業内保育園の設置等多様な人材が長く活躍できる職場環境を整えています。

経緯・背景

地方都市である群馬県でも、物流業界においてもトラックドライバー不足のみならず、物流センターや倉庫におけるフォークリフトオペレーターや構内作業者人手不足は大きな問題です。そのような中、国内製品の高付加価値化に伴い、物流現場では、顧客から「より安全で高品質な運搬」が求められています。そこで、安全第一主義の意識に基づいた「高水準な物流パフォーマンス」を目指し、生産性向上を目的としたデジタル技術の進化に伴い「IoT」を活用し、倉庫業務でも自動化技術を活用した省人化、省力化の取組を進めていくことが課題となりました。

具体的な取組

「安全第一主義」を理念に「無人フォークリフトシステムによる省人化荷役サービスの運用」をパッケージ化し、人手不足の物流現場で、自動化した高水準で安全な荷役業務運営サービスを県内外の倉庫事業者を提供します。

本事業のビジネスモデル



成果・効果

自動フォークリフトおよび移動ラックの活用による省力化、夜間人員の削減による働き方改革の推進に加え、入庫作業と出庫作業の錯綜の解消および人と荷役機械の役割分離によって、より安全な作業を実現。特に、夜間における出荷準備作業の自動化により、翌日の出荷準備のために夜間の時間帯に行っていた有人のフォークリフト作業をなくし、自動フォークリフトと移動ラックにより完全自動化を実現しました。



レーザー式自動フォークリフト

移動ラックとの連動

当社にとってのSDGsと、その展望

物流は、わが国における豊かな国民生活や産業競争力、地域社会を支える重要な血流です。既存倉庫でも導入できるIoT技術を活用した「無人フォークリフトを活用した自動荷役システム」実装により、入出庫業務の24時間稼働が可能となり、生産性を高めつつ省人化や在庫状態に最適導線の抽出により、荷役業務の効率化も実現。当社は物流のデジタル化を通じて、働く人が減る中であっても、現場の物流を効率化するとともに中小物流業界の成長に貢献する事業の展開を目指していきます。

SDGsは、環境や働く人たちの状況を改善し、事業の成長も目指す取組です。トラック運転手不足が深刻になっていることに対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に役立つことを目的として「トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化」、「女性や60代の運転手等も働きやすい労働環境の実現」を目指す取組として進めています。